各研修は全国６センターで実施しております。
実習や演習は各センターのならではの持ち味があります。

弘前大学の持ち味紹介

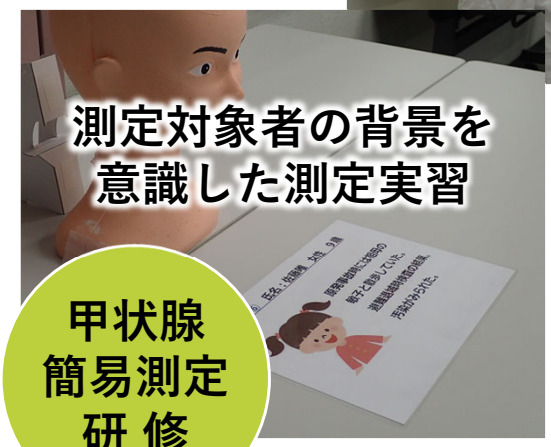
被ばく医療・原子力災害の
要点がわかる
カード型資料を進呈

中核人材
研 修

派 遣
チーム
研 修

中核人材
研 修

傷病者受入・本部対応
双方学べる医療実習



測定対象者の背景を
意識した測定実習

甲状腺
簡易測定
研 修

机上演習
チームメンバーの目線で
シミュレーション

派 遣
チーム
研 修

中核人材研修では、弘前大学が独自で作成した診療フローや汚染傷病者に対応する際の医療従事者の被ばく線量などの要点をコンパクトにまとめたカード型資料を受講される皆様へ進呈しております。研修後もぜひご活用ください。（派遣チーム研修でも進呈）

原子力災害医療派遣チームは原子力災害時のDMATの様な存在であり、弘前大学が開催する派遣チームの養成研修では医療機関の支援／受援体制の確立に必要な情報管理や災害対策本部の設置・運営といった、災害医療の基礎から学べる実習を意識して実施しています。

甲状腺簡易測定研修では、NaIシンチレーションサーベイメータの操作技術の取得だけではなく、測定者にはリスク（クライシス）コミュニケーションが求められることも重要ですので、このような緊急時におけるリスクコミュニケ―ターに求められることも講師・受講生皆でディスカッションします。

研修開催情報・受講申込は
retms 被ばく医療研修ポータルサイト
https://retms.nirs.qst.go.jp/retmsWeb/top

研修担当講師　辻口より